

やんばるアクセス革命

— 北部地域全体で自由に行き来できる社会の実現 —

北部地域の現状と課題



▶ 高齢化・人口減少

- ・ 医療・介護需要
- ・ 買物・通院難民



▶ 名護一極集中

- ・ 交通渋滞
- ・ 移動制約者



▶ 集落の分散

- ・ 交流の減少
- ・ 共同売店の衰退

観光地と交通の現状



各バス停の運行本数(出典: バスマップ沖縄)

運行本数(本)	平日	土曜	日祝
海洋博公園	53	53	53
瀬底島	6	6	6
古宇利島	20	14	14
道の駅許田	34	35	35

古宇利島のバス停の運行本数(出典: やんばる急行バス)

三島線 古宇利島方面 3 Islands line for Kouri Island											
運航日	毎日	平日	毎日	平日	毎日	平日	毎日	毎日	毎日	毎日	
105 古宇利島の駅 ソラハシ	08:35	09:25	10:00	11:20	12:10	13:10	14:00	...	15:20	16:20	17:50

- ・ 移動手段が限定的 ▶ 車依存が懸念
- ・ 時間制約が大きい

— 点ではなく, “つながる地域”へ —

やんばるの新拠点

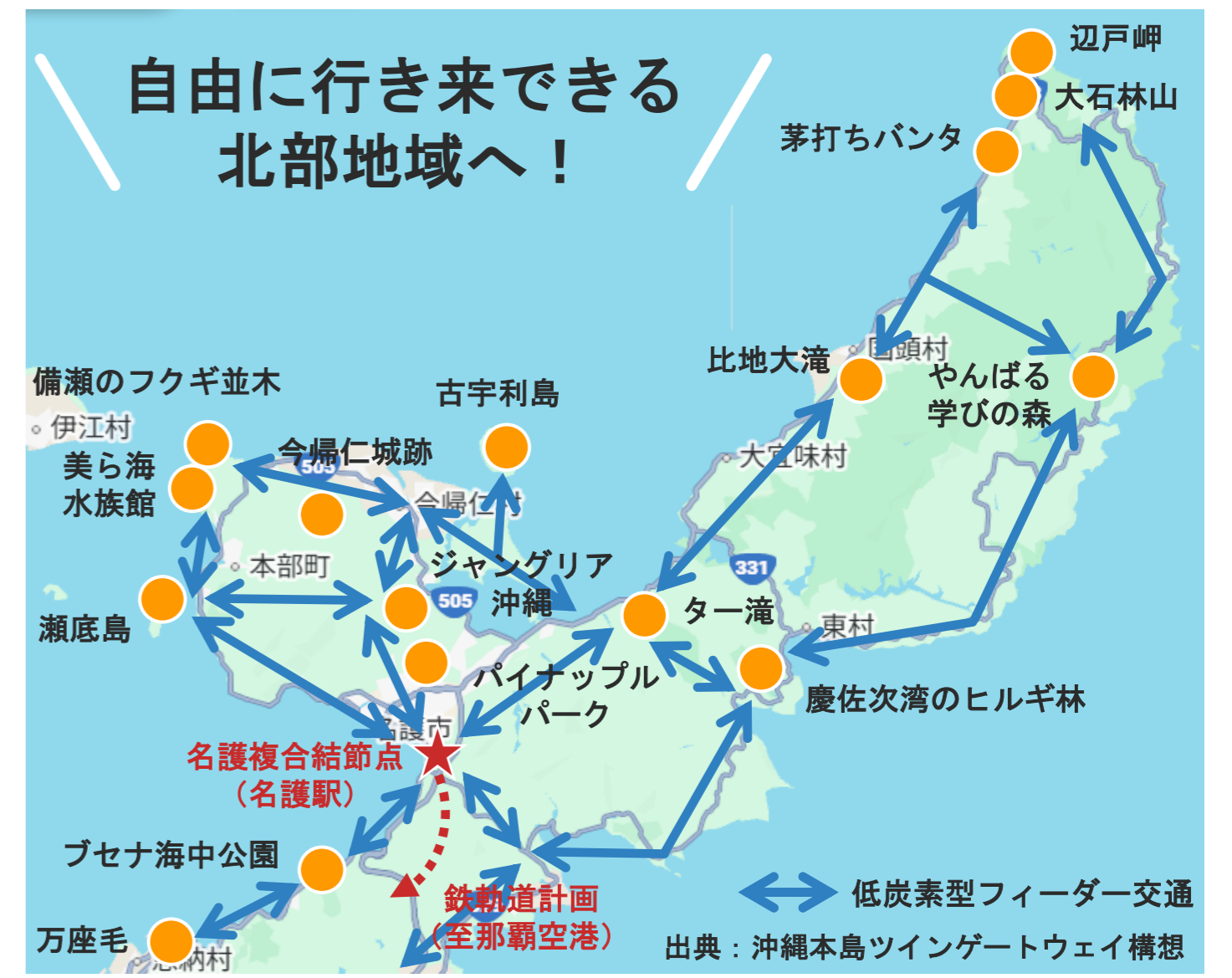


道の駅ういゆい国頭

出典: 道の駅ういゆい国頭

観光交通の改善

自由に行き来できる 北部地域へ!



医療拠点



公立沖縄北部医療センター

出典: 北部地区医師会病院

- ・ 2028年度開院予定
- ・ コミュニティナース養成
- ・ 顔の見える関係性の構築
- ・ 高度医療・医師不足解消
- ・ コミュニティナース養成

交通拠点



名護バスタ

出典: 名護市中心市街地まちづくり推進協議会

- ・ 北部地域の中心都市
- ・ 中南部との連携強化
- ・ 離島・やんばる一体化
- ・ 集落間の周遊性向上
- ・ 公共交通機関の利便性

車がなくても
楽しく暮らせる・観光できる地域へ!!!




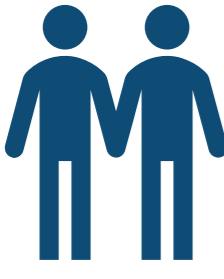

交通の中心をゆいレールに

— ゆいゆいと、街をつなぐゆいレール —

提案




ゆいレールを基盤にした交通都市

現状

-  移動の中心は自動車
-  ゆいレールは一部の人の交通手段
-  駅は「乗るだけ」の場所

理想に近づける

理想

-  ゆいレールが都市交通の”軸”に
-  通学通勤や観光等幅広く使われる
-  駅が「目的地」になる

① 路線延伸

移動範囲を広げる

- 豊崎・瀬長・琉大方面への延伸
 - ✓ 空港から近い観光地
 - ✓ レンタカーとの接続
 - ✓ 学生利用
 - 渋滞緩和, 経済効果, 車窓からの景観が良好



② 駅の目的地化

駅に行く「理由」をつくる

- 観光地・商業施設と一体化した駅
 - ✓ 駅そのものを「遊び場」に
 - ✓ 買い物, 余暇活動の場となる商業施設を併設
 - 交通×賑わい=目的地化



③ 利便性向上

駅自体を魅力的に

- 車両の増備・駅拡張
 - ✓ 輸送能力の増加
 - ✓ 大型コインロッカーの増設
 - ✓ コンビニ等の設置
 - ✓ バリアフリー化
 - 混雑の解消や機能強化による快適性の向上

県庁前駅増床スケジュール
出典：沖縄都市モノレール株式会社

	2025	2026	2027	2028	2029
基本設計	→				
法手続き		→			
事業化			→		



路線延伸

駅の目的地化

利便性向上

ゆいレールを「移動手段」から「都市交通の中心」へ

